

碧南のトマト、共選出荷スタート！

【10月21日(金)／碧南市内のハウス、集荷場でトマトを紹介します】



J Aあいち中央管内の碧南市で、J Aトマト部会（部会長：角谷政則）が栽培するトマトの出荷が始まります。

碧南市の南部地区では、トマト需要の高まりとともに昭和30年代から生産が行われてきました。土壌や気候がトマト栽培に適しているため、みずみずしく、あっさりとした食味でたくさん食べることができます。

同部会では、品種や出荷資材の見直しなどを行い、品質のよいトマトを消費者の元へ届けられるように努めています。



選果レーンで選別され、人の手で箱詰めされます



樹上でたわわに実るトマト(土耕)

先進技術と品種選定で収量アップ目指す

同部会では、土耕・ロックウールといった様々な方法で栽培しています。また、積極的に様々な品種を試験栽培しています。

2022年作の主力品種「かれん」は、21年作の試験栽培で、従来品種よりも秀品率が30%向上したことが切り替えるきっかけとなりました。

J Aあいち中央トマト部会

部 会 員：8人

栽培面積：約4.0ヘクタール

出荷時期：10月上中旬～7月上旬

最 盛 期：4月～5月頃

総出荷量：約535トン（計画）

流 通 先：中京市場を通じ、大手量販店で販売



つややかな光沢を放つトマト



生産者の手でひとつひとつ丁寧に収穫されます

<メディア対応日>

日 時：2022年10月21日(金)／午前11時20分

場 所：碧南営農センター内園芸集出荷場 集合
(碧南市港本町4-40)

その他：当日はトマトのハウス内（車で約10分）で収穫作業と生産者へのインタビュー、集出荷場で選果レーン稼働の様子を撮影いただけます。

(お問い合わせ先) ※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

■ J Aあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

■ TEL:0566-73-5504／携帯(高瀬):080-3667-3853／E-mail:kouhou@jaac.or.jp